

平成29年度 学校だより (第15号)

**木立見** こだちみ

校訓 ～ 強く 正しく 美しく ～



平成29年12月25日発行

発行者 出口 伸雄

足利市立西中学校 62-2230

平成29年度学校課題：自他を尊重し、互いに高め合う生徒の育成（2年目）

本日、2学期の終業式を迎えました。明日からの冬休みは、家族で過ごす時間を大切に、新しい年を迎えるにあたり、新年の目標を立てさせてください。学習、生活、人間関係、進路・受験などで、心配なことや悩んでいることがありましたら、遠慮なく担任等にご連絡ください。

保護者の皆様には、大変、お世話になりました。良いお年をお迎えください。



## 防災意識の醸成を！！～防災共育ワークショップ～

東日本大震災の時、「釜石の奇跡」を生んだ言葉が「てんでんこ」です。「てんでんこ」とは、各自のこと。海岸で大きな揺れを感じたら、津波が来るから。各自「てんでんばらばらに」一刻も早く高台に逃げて、自分の命を守れという意味です。巨大地震、局地的な豪雨による土砂崩れや洪水、落雷や竜巻など、自然災害は、いつやって来るか分かりません。本校では、年2回の避難訓練の他に、1年生を対象に、防災共育ワークショップを行っています。今年、12月14日（木）に行いました。防災への意識を高め、災害に対し自ら考え判断し行動できることや、自分の命は自分で守ることの大切さを学ぶための学習です。各班の進行役やお手伝いに、本校や他校のPTAやOB、関係者や地域の方々など、のべ45名の皆様にお手伝いいただきました。生徒たちは、積極的に意見を述べ、話し合いに参加するなど、真剣に学習に取り組みました。



今年、12月14日（木）に行いました。防災への意識を高め、災害に対し自ら考え判断し行動できることや、自分の命は自分で守ることの大切さを学ぶための学習です。各班の進行役やお手伝いに、本校や他校のPTAやOB、関係者や地域の方々など、のべ45名の皆様にお手伝いいただきました。生徒たちは、積極的に意見を述べ、話し合いに参加するなど、真剣に学習に取り組みました。

## 税金の大切さを学ぶ

12月4日（月）、5日（火）に、「江連伸夫税理士さん」からのお話やDVD視聴により、税金の意義や役割について正しく理解し、私たち国民の義務としての納税について学習しました。生徒は、発表したり質問したりするなど、積極的に授業に取り組みました。また、毎年、租税教育推進活動の一環として行われている「中学生の税についての作文」には、中学3年生143名が出品し、3年女子生徒4名が入賞しました。

- ◇足利市長賞「税金に対する感謝の気持ち」
- ◇足利市租税教育推進協議会長賞「日本の消費税率は高い？低い？」
- ◇足利納税貯蓄組合連合会長賞「税金に感謝」
- ◇足利納税貯蓄組合連合会長賞「震災地に行って思ったこと」



## 楽しい冬休み にするために（お願い）

- ◆命を大切に、心身ともに健康な生活が送れるようにする。
- ◆交通ルールをしっかりと守らせ、事故がないようにする。
- ◆中学生のアルバイトはさせない。（家のお手伝いをさせてください。）
- ◆スマホ等の使用は、「西中生の約束」を守らせ、トラブル防止に努める。
- ◆薬物乱用やガス吸引行為など、ぜったいに関与させない。  
※ガス吸引行為（通称「ガスパン」）とは、スプレーなどのガスを吸引する行為で、幻覚・幻聴が現れるなど健康に悪影響を及ぼし、死亡につながる危険な行為です。
- ◆治療勧告を受けている生徒は、完治する。（3年生は、特にです。）

西中生に一声かけ、気になることは担任・学校または警察にご連絡ください。

# 生徒・保護者による学校評価結果～主な成果と課題～

12月14日付けで通知しました生徒及び保護者による学校評価結果から、「高評価」（＝「そうである。できている。」と「ややそうである。ややできている。」を合わせた割合）に着目し、成果と課題をまとめ、その主なものを掲載しました。また、自由記述の内容については、教職員一人一人が自分の問題として真摯に向き合い改めるように指導しました。

## 1 「生徒による学校評価」～学校・職員に関わる項目

【成果】9項目のうち8項目の高評価が80%以上となっています。特に、「学校行事に熱心に取り組んでいる」、「より良い学級作りに取り組んでいる」、「先生方は、規律ある学校生活のために努力している」の高評価が90%以上となっています。また、「わかりやすい授業をしている」が、2.5ポイント増加しています。今後も、日頃から授業改善をし、西中職員が一致団結して取り組んでいきたいと思ひます。

【課題】「誠意ある姿勢で生徒と接してくれている」の高評価が3.4ポイント、「生徒から信頼されている」の高評価が5.4ポイントそれぞれ減少しています。生徒一人一人を大切に、生徒への接し方や対応を改め、親身になって生徒に関わり、信頼ある西中教師を目指したいと思ひます。



## 2 「生徒による学校評価」～自分自身に関わる項目

【成果】16項目のうち11項目が高評価が80%以上、そのうち、「チャイム着席」「善悪の判断」「遅刻をしない」「約束を守る」の4項目の高評価が90%を超えています。特に、「チャイム着席を守っている」、「朝読書の本を自分で用意している」が2.5ポイント増加しています。生徒たちは、主体的に規則正しい学校生活を送っている状況が見られます。また、昨年度の課題であった「家庭学習」「予習・復習」の項目がわずかに増加しています。今後も継続して取り組みたいと思ひます。

【課題】「地域や知り合いの人にあいさつができる」の高評価が4.8ポイント減少しています。西中生の良さである元気なあいさつを、校内、校外を問わず推進し、お世話になっている地域の方々に感謝の気持ちを表していきたいと思ひます。



## 3 「保護者による学校評価」～学校・職員に関わる項目

【成果】15項目のうち13項目の高評価が80%以上となっています。特に、「学校行事の熱心な取組」、「より良い学級作りの取組」が、高評価となっています。また、「わかりやすい授業」が6.0ポイント、「親身に相談ののってくれる」が3.4ポイント、それぞれ増加しています。今後も、わかる授業、居心地の良い学級、充実した学校行事や部活動を目指し、すべての生徒たちが、安心して学校生活を送れる西中学校にしていきたいと思ひます。

【課題】「学校の教育方針を知っている」の高評価が2.6ポイント、「個性を認めている」の高評価が3.3ポイント、「子どもに信頼されている」の高評価が4.4ポイント、それぞれ減少しています。教育方針につきましては、月2回発行の学校だよりをさらに工夫し、周知していきます。また、様々な教育場面で、一人一人の子どもの個性を理解し、認め、子どもたちの声に親身になって応じ、信頼関係を築いていきたいと思ひます。



## 4 「保護者による学校評価」～自分の子どもについての項目

【成果】「善悪の判断ができる」、「地域の方々にあいさつができる」、「家庭であいさつができる」の各項目の高評価が、87%を超えています。今後も、学校と家庭が連携し、子どもの健全育成に力を入れていきたいと思ひます。

【課題】「家庭での学習習慣が身についている」の高評価が5.5ポイント、「時間を守って生活」の高評価が4.6ポイント、それぞれ減少しています。スマホ等の西中生の約束を守らせたり、家庭学習の時間や内容を生活ノートに記入し、家庭学習の時間を意識させるなど、今後も、学校と家庭で連携していきたいと思ひます。

